



アスンシオン通信

日付: 2024 年 9月12日 no.13

発行者: 田邊紘起

日本車があふれるアスンシオン

¡Hola ! Buenos días, Que tal?

2学期の始まりは台風の影響で一日遅れてしまったようですね。皆さん、被害はありませんでしたか。地球の反対側から、日本に大きな災害が起こらないよう祈っています。

さて、今回はアスンシオンの街で見かける自動車について紹介します。

パラグアイには自動車を作る会社がないため、街を走っている車は全て「外国製の車」です。日本ではあまり走っていない韓国や中国、チリ製の自動車もたくさん走っています。ピカピカの高級車もあれば、窓ガラスが割れたりミラーがなくなったりしているボロボロの車もふつうに走っています。この国では、日本のように法律で決められた車の点検がないようで、故障して道路で動かなくなっている車を見ることもあります。そんな中、日本製の車は故障が少なく丈夫だと評判で、とても人気があるようです。

こちらで人気があるのは写真のようなトラック型の車です。道路がでこぼこだったり、大雨で冠水したりしても走ることができます。



日本で使わなくなった古い車を船で南米に運び、ハンドルを右から左に変えて(車は左ハンドルと法律で決まっているため)、あとはそのまま中古車として使っています。ワイパー等は右ハンドル用のままなので、雨の日は前が見えにくそうです。車の後ろに「カローラ広島」とか「広島日産」とかシールが貼られたまま走っている車も見かけます。



アスンシオンの働く車は日本とちがう？

アスンシオンを走るバスは、バス停で手を上げて合図を出している人を見つけるとスピードを落とします。乗る人は、バスが徐行している間に開いたままのドアから飛び乗ります。バスは完全には停止しません。降りる人はボタンを押して、バスの速度が遅くなった時に飛び降ります。とてもスリリングです。写真のバスも乗車口を開けたまま走っていました。



ごみ収集車は日本のものよりかなり大型です。後ろを走っている車と比べてもとても大きいことがわかります。



タクシーは黄色です。役割は日本と同じで、お客さんを乗せて走ります。最近では、タクシーとは別の「ウーバー」や「ボルト」といった運送サービスも増えています。



パトカーは白色のものが多くいます。捕まえた人を後ろの荷台に乗せてサイレンを鳴らしながら走っていることもあります。赤と青の光をピカピカさせながらパトロールしています。



救急車は白と緑色のものが多いです。デザインやサイレンの音はいろいろあります。緑色のランプをピカピカさせて病院や現場に向かいます。



紘起先生への質問コーナー

Q友達はできましたか。(2年Fくん)

A:パラグアイ人の友達はまだまだありません。でも、日本人学校のつながりで、日本大使館やJICA(ジャイカ:国際協力機構)で働く人など、知り合いの輪は広がっています。

では次回まで、Chao chao!nos vemos!

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

Hasta mañana (アスタマニャーナ) :また明日

学校の帰りなどに相手とわかれるとき、「また明日ね!」という意味で「アスタマニャーナ!」と言います。少しのお別れですが、また明日会えると思うとウキウキしますね。

次回について

次回は、迫力満点の南米の世界遺産についてお伝えします。